



ファイブスター投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 2266 号
一般社団法人投資信託協会 加入
一般社団法人日本投資顧問業協会 加入

2020 年 3 月 18 日

受益者様ご各位

ファイブスター投信投資顧問株式会社

「ファイブスター・バリコレ・ファンド」の基準価額下落について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本日「ファイブスター・バリコレ・ファンド」の基準価額が、先週末 2020 年 3 月 17 日の基準価額に比べ-6.43%下落いたしました。この下落の要因と今後の展望に関しましてご報告いたします。

敬具

記

(1) ファンドの基準価額と騰落率

ファンド名	3月17日 基準価額	3月18日 基準価額	前営業日比 騰落幅	前営業日比 騰落率
ファイブスター・バリコレ・ ファンド	6,824 円	6,385 円	▲439 円	▲6.43%

(2) 基準価額の下落について

2020 年 3 月 18 日に「ファイブスター・バリコレ・ファンド」の基準価額が前営業日である 3 月 17 日の基準価額に対して-6.43%下落致しました。「ファイブスター・バリコレ・ファンド」の基準価額は、ファンドが保有している有価証券の前日の価格に基づいて計算されています。従って、3 月 18 日の「ファイブスター・バリコレ・ファンド」の基準価額の下落は、その前営業日の 3 月 17 日のファンドの主たる投資先である「ファイブスター・マルチアセット・ファンド (適格機関投資家私募)」の基準価額が 3 月 16 日に対して-6.77%下落した事が原因です。

2020 年 3 月 17 日の「ファイブスター・マルチアセット・ファンド (適格機関投資家私募)」の基準価額下落は、3 月 16 日に米国株が 1987 年のブラックマンデー以来の大幅安となった事によります。この下落は言うまでもなく、現在進行中の世界的な新型コロナウイルスの感染拡大に



起因しています。この日には、トランプ大統領が経済的な混乱が夏まで続き、米国経済がリセッション（景気後退）入りする可能性があるとの見方を示すと、米国株は下げ幅を拡大しました。この日の米国株の下げによって、米国株 S&P500 指数は過去最高値からの下落率が 30% に迫っており、また、2019 年の上昇分を失いました。

また、ニューヨーク原油先物相場も 3 月 16 日には大幅に反落しました。新型コロナウイルスの抑制を目的に世界的な移動制限が強まっており、原油需要が落ち込むとの見方から売りが膨らみました。原油に関しては、サウジアラビアとロシアが、減産方針で合意に至らず、むしろ増産を行っている事も背景にあります。

新型コロナウイルスの感染者数の増加は、中国では減少傾向にあって事態は沈静化の様相ですが、その他の地域、特にヨーロッパのイタリア、スペイン、ドイツ、フランスなどの各国では事態は悪化しており、予断を許さない状況です。

過去を振り返りますと、SARS（重症急性呼吸器症候群）の集団発生は、中国の広東省を起源として 2002 年 11 月に始まり、32 の地域と国にわたり 8,000 人を超える症例が報告されました。その終息宣言が出されたのは翌 2003 年 7 月で、発生から約 8 ヶ月かかりました。今回の新型コロナウイルスの感染に関しては、すでに SARS の感染者数をはるかに超える 20 万人近くの感染者数を出していることから、終息に向かうにはまだまだ時間が掛かると考えられます。

今後、新型コロナウイルス感染の影響から、今後発表される様々な経済指標は景気の減速を示し、世界の上場企業の利益の減少は避けられないと考えられます。しかし、一旦感染が終息に向かう兆しを見せれば、その後の生産や消費の回復と世界規模の景気刺激策を織り込んだ、大きな株価上昇も十分有り得えます。いずれにしても、現在の世界の主要な株価は今までの大幅な下落の結果割安な水準となっており、中長期的な観点から投資の魅力が大きい投資対象が多く見られると考えます。

まだ暫くは、世界的に値幅の大きな株式相場の状況が続くおそれがありますので、より一層慎重かつ冷静な運用を心がけ、世界的な株価上昇局面に備えたいと思います。

以上